

〈2016(平成28)年度〉

スポーツ庁国庫補助事業
日韓共同未来プロジェクト事業



日韓スポーツ交流

Japan-Korea Sports Exchange Program



公益財団法人

日本体育協会

住所：〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1

TEL：03-3481-2480(国際課)

URL：<http://www.japan-sports.or.jp/>

はじめに

日韓スポーツ交流は、「2002年ワールドカップ・サッカー大会」の日本・韓国共同開催決定を契機に、スポーツを通じて両国の親善と友好をより一層深め、更には両国のスポーツ振興と競技力向上を図ることを目的として、日本体育協会が1997(平成9)年度から毎年実施しています。

これまで2万人を越える日韓両国の幅広い年齢層の方々が、互いの国を訪問してスポーツ交流を行うとともに、それぞれの生活や文化にも触れ、理解を深め合ってきました。その後も、地域交流や個別の交流が継続的に図られるなど、国際交流の成果が年々確実に現われてきています。

■日韓スポーツ交流実施までの経緯

年	月	内容	
1996年 平成8年	5月	2002年ワールドカップ・サッカー大会の日韓共同開催が決定	
	6月	日韓首脳会談が韓国の済州島で開催 (当時、日本は橋本龍太郎首相、韓国は金永三(キム・ヨンサム)大統領) 2002年ワールドカップ・サッカー大会の日韓共同開催を機に、両国の友好親善をより一層深めることが話し合われる	
1997年 平成9年	1月	日韓首脳会談が日本の大分県別府市で開催	
		日韓スポーツ交流の国庫補助金が決定 日本体育協会：少年から一般までの幅広い年齢層の交流 日本オリンピック委員会：ナショナルチームの強化合宿等	
		日韓スポーツ交流 第1回両国政府実務者会議を日本(東京)で開催	
	3月	日韓スポーツ交流 第2回両国政府実務者会議を韓国(ソウル)で開催 (日本側)文部省(現：文部科学省)、日本体育協会、日本オリンピック委員会 (韓国側)文化体育部(現：文化体育観光部)、大韓体育会、国民生活体育協議会(現：国民生活体育会) (日本体育協会に関する決定事項) ①青少年スポーツ交流(相互交流) 主体：日本体育協会と大韓体育会 ②成人交歓交流(相互交流) 主体：日本体育協会と国民生活体育協議会(現：国民生活体育会) ③ジュニア強化合宿(相互交流) 主体：日本体育協会・日本オリンピック委員会と大韓体育会・大韓オリンピック委員会(現：大韓体育会)	
		8月	第1回日韓スポーツ交流・青少年スポーツ交流(派遣・受入)実施 ※現在の夏季交流
		10月	第1回日韓スポーツ交流・成人交歓交流(派遣)実施
		11月	第1回日韓スポーツ交流・成人交歓交流(受入)実施
	8月~12月	日韓スポーツ交流・ジュニア選手競技力向上(合同合宿)実施	
2000年 平成12年	2月	日韓スポーツ交流・ジュニア選手競技力向上(合同合宿)の日本側事業主体を、2000(平成12)年度から日本オリンピック委員会とする	
2002年 平成14年	5月	2002年ワールドカップ・サッカー大会開催(5月31日~6月30日)	
	7月	日韓首脳会談が日本の東京で開催 (当時、日本は小泉純一郎首相、韓国は金大中(キム・デジュン)大統領) 2002年ワールドカップ・サッカー大会の日韓共同開催成功を受け、「日韓共同未来プロジェクト」の実施が合意される	
2003年 平成15年	1月	日韓スポーツ交流・青少年スポーツ交流(冬季)実施	
	4月	日韓スポーツ交流・地域交流推進実施	

「日韓共同未来プロジェクト」について

「日韓共同未来プロジェクト」は、日韓共催による「2002年ワールドカップ・サッカー大会」の成功と、その精神を後世に末長く語り継ぎ、継承するために、2002(平成14)年7月1日、日本の小泉純一郎首相(当時)と韓国の金大中(キム・デジュン)大統領(当時)との日韓首脳会談において実施が合意されました。青少年交流、スポーツ交流、その他の草の根交流において年間1万人規模の交流拡大を目標とし、2003(平成15)年1月1日よりスタートしました。

本会が実施する日韓スポーツ交流は、「日韓共同未来プロジェクト事業」として指定(無条件名称付与)を受け実施しています。

青少年スポーツ交流

次代を担う日韓の青少年が互いの国を訪問しあい、スポーツを中心とした様々な交流を行うことにより、競技レベルの向上を図るとともに、友情を育み、文化や社会状況に対する相互理解を深めています。

夏季交流は、1997(平成9)年度にスタートし、「2002年ワールドカップ・サッカー大会」を契機に編成数を増員。2002(平成14)年度からは冬季交流も実施されるなど、交流の充実が図られています。

■夏季

〈実施競技および人数構成〉

競技		サッカー(男)	バレーボール(男女)	バスケットボール(男女)	卓球(男女)	バドミントン(男女)	本部役員	合計人数
選手(小学/初等)	(男子)	20	12	12	6	6	—	56
	(女子)	—	12	12	6	6	—	36
選手(中学/中等)	(男子)	20	12	12	6	6	—	56
	(女子)	—	12	12	6	6	—	36
指導者(小学/初等)		2	3	3	3	3	—	14
指導者(中学/中等)		2	3	3	2	2	—	12
本部役員		—	—	—	—	—	8	8
合計		44	54	54	29	29	8	218
		98		112				

派遣 日本の小学生(5・6年生)および中学生184名、指導者26名、本部役員8名 計218名

受入 韓国の初等部及び中等部生徒(11~15歳)184名、指導者26名、本部役員8名 計218名

〈2016(平成28)年度 実施概要〉

名称	人数	開催地	実施期日
第20回 青少年夏季交流	派遣 218	全羅北道・全州市	8月16日(火)~8月22日(月) 7日間
	受入 218	千葉県	



派遣 千葉県:98名(サッカー、バレーボール)
 沖縄県:112名(バスケットボール、卓球、バドミントン)
※沖縄県は2017(平成29)年度の開催地

受入 日本側は開催地となる千葉県の小学生(5・6年生)および中学生が参加

■冬季

〈実施競技および人数構成〉

競技		雪上競技				氷上競技			本部役員	合計人数
		スキー		スケート		アイスホッケー	カーリング			
		アルペン	クロスカントリー	スピード	ショートトラック					
選手(中学/中等)	(男子)	12	12	15	10	22	5	—	76	
	(女子)	12	12	15	10	—	5	—	54	
指導者(中学/中等)		3	3	5	3	5	3	—	22	
本部役員		—	—	—	—	—	—	7	7	
合計		27	27	35	23	27	13	7	159	
		54		98						

派遣 日本の中学生(選手)130名、指導者22名、本部役員7名 計159名

受入 韓国の中等部生徒(選手)130名、指導者22名、本部役員7名 計159名

〈2016(平成28)年度 実施概要〉

名称	人数	開催地	実施期日
第15回青少年冬季交流	派遣 159	ソウル特別市・江原道	2017年1月~2月(7日間)
	受入 159	秋田県(雪上競技) 岩手県(氷上競技)	

派遣 秋田県:54名(雪上競技:スキー)
 岩手県:98名(氷上競技:スケート、アイスホッケー、カーリング)

受入 日本側は開催地となる秋田県(雪上競技)及び岩手県(氷上競技)の中学生が参加



成人交歓交流

日韓の30～70歳のスポーツ愛好者が互いの国を訪問しあい、両国で開催されるスポーツの大会(祭典)に特別参加するなど、スポーツを中心とした交流によって友好と親善を図っています。

日本での受入は、2011(平成23)年度まで、「全国スポーツ・レクリエーション祭」に参加する形態で行っていましたが、2012(平成24)年度より「日本スポーツマスターズ」への参加形態に移行し、より高いレベルでの競技を通して交流を行っています。



〈実施競技および人数構成〉

サッカー	テニス	バレーボール	バスケットボール	自転車競技	ソフトテニス	軟式野球	ソフトボール	バドミントン	ボウリング	本部役員	合計人数
19	18	19	18	18	22	19	19	18	18	7	195

派遣 日本の成人男女(30～70歳) 188名、本部役員7名 計195名

受入 韓国の成人男女(35歳以上) 188名、本部役員7名 計195名
※日本スポーツマスターズ競技別実施要項に基づく

〈2016(平成28)年度 実施概要〉

名称	人数	開催地	実施期日
第20回成人交歓交流	派遣 195	ソウル特別市	5月26日(木)～6月1日(水) 7日間 ※1
	受入 195	秋田県	9月22日(木)～9月28日(水) 7日間 ※2

※1 韓国の全国生活体育大祝典開催時期

※2 日本スポーツマスターズ開催時期



競技	開催地	人数	サッカー	テニス	バレーボール	バスケットボール	自転車競技	ソフトテニス	軟式野球	ソフトボール	バドミントン	ボウリング	本部役員	合計人数
			(男子) (19名)	(男女) (18名)	(女子) (19名)	(男子) (18名)	(男女) (18名)	(男女) (22名)	(男子) (19名)	(女子) (19名)	(男女) (18名)	(男女) (18名)		
派遣	秋田県 ※1	143名	19	9	19	18	9	13	19	19	9	9	7	195
	兵庫県 ※2	45名	—	9	—	—	9	9	—	—	9	9		
受入	韓国選手団	19	18	18	19	18	18	22	19	19	18	18	7	195

※1 日本スポーツマスターズ2016 開催県

※2 日本スポーツマスターズ2017 開催県

地域交流推進(都道府県・市区町村交流)

この交流は、「2002年ワールドカップ・サッカー大会」の日韓共同開催の成功を記念して、スポーツによる日韓交流を一層促進するため、両国の地域レベルにおけるスポーツ交流を実施することにより、相互理解を深め、友好親善と各地域のスポーツ振興を図ることを目的としています。日韓スポーツ交流の一環として、本会が2003(平成15)年度にスタートし、都道府県体育(スポーツ)協会に委託して実施しています。



派遣 日本の都道府県または市区町村単位で編成する派遣団を、韓国の道または市へ派遣する。

受入 韓国の道または市単位で編成する派遣団を、都道府県または市区町村で受入を行う。

■2016(平成28)年度は、19交流(派遣:10交流、受入:9交流)を予定しています。



〈「スポーツ・フォー・トゥモロー」について〉

Sport for Tomorrowは、100カ国以上・1000万人以上を対象に、スポーツの価値とオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを広げていく日本国政府が推進するスポーツを通じた国際貢献事業です。

日韓スポーツ交流の実績

回数 年度	事業形態		期間		内容		人数	合計人数
			期間	場所	場所			
〈第1回〉 1997年度 平成9年度	青少年 夏季	派遣	8/18~24	韓国・昌原市	108	432		
		受入	同上	秋田県・岡山県	108			
	成人	派遣	10/9~15	韓国・ソウル特別市、慶州	106			
		受入	11/13~19	沖縄県	110			
〈第2回〉 1998年度 平成10年度	青少年 夏季	派遣	8/23~29	韓国・済州道	108	430		
		受入	同上	宮崎県	108			
	成人	派遣	6/11~17	韓国・ソウル特別市、慶州	104			
		受入	10/2~8	岐阜県	110			
〈第3回〉 1999年度 平成11年度	青少年 夏季	派遣	8/21~27	韓国・仁川広域市	108	434		
		受入	同上	埼玉県	108			
	成人	派遣	6/24~30	韓国・ソウル特別市 他	108			
		受入	10/15~21	山形県	110			
〈第4回〉 2000年度 平成12年度	青少年 夏季	派遣	8/18~24	韓国・釜山広域市	108	448		
		受入	同上	福島県	108			
	成人	派遣	5/25~31	韓国・順天市 他	117			
		受入	9/29~10/5	石川県	115			
〈第5回〉 2001年度 平成13年度	青少年 夏季	派遣	8/17~23	韓国・忠清南道	108	448		
		受入	同上	大分県	108			
	成人	派遣	6/14~20	韓国・済州道	115			
		受入	11/9~15	三重県	117			
〈第6回〉 2002年度 平成14年度	青少年	夏季	派遣	8/17~23	韓国・済州道	214	763	
		受入	同上	富山県	215			
	成人	派遣	4/25~5/1	韓国・忠清北道	117			
		受入	10/3~9	広島県	117			
〈第7回〉 2003年度 平成15年度	青少年	夏季	派遣	8/16~22	韓国・全羅北道	216	1,730	
			受入	同上	宮城県	211		
		冬季(第2回)	派遣	スキー	2004・1/13~19	韓国・江原道		57
			受入	スケート アイスホッケー	2004・2/23~29	韓国・ソウル特別市		99
	成人	派遣	スキー	2004・1/13~19	長野県・東京都	56		
			スケート アイスホッケー	2004・2/23~29	青森県・東京都	100		
	地域交流	派遣	6/13~19	韓国・慶尚南道 他	143			
		受入	10/31~11/6	香川県	145			
〈第8回〉 2004年度 平成16年度	青少年	夏季	派遣	8/16~22	韓国・忠清北道	215	1,922	
			受入	同上	静岡県	206		
		冬季(第3回)	派遣	2005・1/24~30	韓国・ソウル特別市、江原道	168		
			受入	スキー	2005・1/20~26	北海道		57
	成人	派遣	スケート アイスホッケー カーリング	2005・2/14~20	北海道	107		
			派遣	5/28~6/3	韓国・光州広域市 他	156		
	地域交流	受入	10/1~7	福井県	153			
		派遣	22交流/13道県		578			
〈第9回〉 2005年度 平成17年度	青少年	夏季	派遣	8/16~22	韓国・済州道	212	1,391	
			受入	同上	熊本県	206		
		冬季(第4回)	派遣	2006・1/20~26	韓国・ソウル特別市、江原道	166		
			受入	スキー カーリング	2006・1/21~27	北海道		70
	成人	派遣	スケート アイスホッケー	2006・2/19~25	北海道	100		
			派遣	5/13~19	韓国・忠清南道 他	174		
	地域交流	受入	9/30~10/6	岩手県	175			
		派遣	8交流/7県		160			
〈第10回〉 2006年度 平成18年度	青少年	夏季	派遣	8/16~22	韓国・仁川広域市	216	1,395	
			受入	同上	新潟県	216		
		冬季(第5回)	派遣	2007・1/19~25	韓国・ソウル特別市、江原道	170		
			受入	同上	北海道	161		
	成人	派遣	派遣	4/13~19	韓国・全羅南道 他	175		
			受入	10/20~26	鳥取県	174		
	地域交流	派遣	10交流/8道県		187			
		受入	4交流/4県		96			
〈第11回〉 2007年度 平成19年度	青少年	夏季	派遣	8/16~22	韓国・全羅南道木浦市	217	1,425	
			受入	同上	愛媛県	217		
		冬季(第6回)	派遣	2008・1/20~26	韓国・ソウル特別市、江原道	159		
			受入	スキー	2008・2/11~17	群馬県		57
	成人	派遣	スケート アイスホッケー カーリング	同上	北海道	91		
			派遣	5/31~6/6	韓国・蔚山広域市 他	172		
	地域交流	受入	9/21~26	青森県	175			
		派遣	12交流/10県		232			
受入	6交流/6道県		105					

回数 年度	事業形態			期間		内容		人数	合計人数
				場所					
〈第12回〉 2008年度 平成20年度	青少年	夏季	派遣	8/16~22	韓国・光州広域市	218	1,529		
			受入	同上	福岡県	218			
		冬季 (第7回)	派遣	2009・1/18~24	韓国・ソウル特別市、江原道	155			
			受入	2009・2/23~3/1	山形県	57			
	成人	派遣	5/22~28	韓国・大邱広域市 他	190				
		受入	10/17~23	滋賀県	192				
	地域交流	派遣	13交流/10道府県		244				
		受入	9交流/9道府県		154				
〈第13回〉 2009年度 平成21年度	青少年	夏季	派遣	8/16~22	韓国・忠清北道忠州市	218	1,914		
			受入	同上	和歌山県	218			
		冬季 (第8回)	派遣	2010・1/18~24	韓国・ソウル特別市、江原道	158			
			受入	2010・2/6~12	北海道	143			
	成人	派遣	5/21~27	韓国・全羅北道全州市	188				
		受入	10/16~22	宮崎県	194				
	地域交流	派遣	25交流/12都道府県		543				
		受入	13交流/9道府県		252				
〈第14回〉 2010年度 平成22年度	青少年	夏季	派遣	8/16~22	韓国・済州特別自治道	216	2,090		
			受入	同上	茨城県	216			
		冬季 (第9回)	派遣	2011・1/18~24	韓国・ソウル特別市、江原道	147			
			受入	2011・2/20~26	北海道	154			
	成人	派遣	4/22~28	韓国・釜山広域市	187				
		受入	10/15~21	富山県	195				
	地域交流	派遣	30交流/15都道府県		640				
		受入	15交流/14道府県		335				
〈第15回〉 2011年度 平成23年度	青少年	夏季	派遣	8/16~22	韓国・大田広域市	218	1,480		
			受入	同上	岩手県	215			
		冬季 (第10回)	派遣	2012・1/15~21	韓国・ソウル特別市、江原道	140			
			受入	2012・2/19~25	新潟県	56			
	成人	派遣	5/19~25	韓国・仁川広域市	133				
		受入	11/4~10	栃木県	192				
	地域交流	派遣	19交流/13都道府県		359				
		受入	5交流/5道府県		71				
〈第16回〉 2012年度 平成24年度	青少年	夏季	派遣	8/16~22	韓国・全羅北道群山市	216	1,780		
			受入	同上	奈良県	207			
		冬季 (第11回)	派遣	2013・1/21~27	韓国・ソウル特別市、江原道	144			
			受入	2013・2/17~23	秋田県	56			
	成人	派遣	5/10~16	韓国・大田広域市	184				
		受入	10/18~24	高知県	190				
	地域交流	派遣	23交流/16都道府県		436				
		受入	13交流/11道府県		247				
〈第17回〉 2013年度 平成25年度	青少年	夏季	派遣	8/16~22	韓国・仁川広域市	218	1,600		
			受入	同上	滋賀県	213			
		冬季 (第12回)	派遣	2014・1/21~27	韓国・ソウル特別市、江原道	147			
			受入	2014・2/17~23	新潟県	51			
	成人	派遣	5/10~16	韓国・慶尚北道	189				
		受入	10/18~24	福岡県・北九州市	193				
	地域交流	派遣	19交流/16都道府県		356				
		受入	11交流/9道府県		137				
〈第18回〉 2014年度 平成26年度	青少年	夏季	派遣	8/16~22	韓国・全羅北道全州市	214	1,300		
			受入	同上	秋田県	210			
		冬季 (第13回)	派遣	2015・1/11~17	韓国・ソウル特別市、江原道	154			
			受入	2015・2/9~15	長野県	49			
	成人	派遣	10/30~11/5	韓国・江原道	190				
		受入	9/18~24	埼玉県	191				
	地域交流	派遣	8交流/8都道府県		133				
		受入	4交流/4県		62				
〈第19回〉 2015年度 平成27年度	青少年	夏季	派遣	8/16~22	韓国・全羅南道麗水市	213	1,415		
			受入	同上	山形県	217			
		冬季 (第14回)	派遣	2016・2/13~19	韓国・ソウル特別市、江原道	151			
			受入	2016・1/11~17	長野県	44			
	成人	派遣	5/14~20	韓国・京畿道	184				
		受入	9/17~23	石川県	193				
	地域交流	派遣	11交流/10都道府県		186				
		受入	7交流/5道府県		131				

※ 受入は韓国選手団人数
※ 地域交流は委託対象人数

参加人数合計	
青少年夏季(派遣/受入)	7,086
青少年冬季(派遣/受入)	4,110
成人(派遣/受入)	5,973
地域交流	6,562
総参加人数(青少年/成人/地域交流)	23,731